

# 窓

— 同窓会だより —

No. 107 (平成 31. 2. 28発行)

富山県立魚津高等学校同窓会



- 1面 同窓生寄稿
- 2面 同窓生寄稿・ゴルフ大会
- 3面 同窓会総会講演
- 4面 魚高生の活躍・連絡係



## 理学療法 (Physical Therapy) を ご存じですか？

金沢大学教授 (医薬保健研究域保健学系) 山崎 俊明

故郷富山(上市町)より金沢在住の年月が長くなりました。それでも帰省や仕事で高速道路から立山連峰が見えると、何となく安心します。大学の入試関連業務で富山県の高校の先生方との懇談会にて隣席した魚津高校の先生や現在母校に勤務している同級生の伝で原稿依頼がありました。今年、還暦を迎える節目でもあり僣越ながら書かせていただくことにしました。

私は現在、金沢大学で理学療法(学)の研究・教育・臨床に携わっています。理学療法については、あまりご存じない方もいらっしゃると思います。一番理解しやすいのは、事故や病気で入院した際のリハビリテーションです。元々は、Physical Therapyと言いますが、日本語訳が理学療法です。主に基本的な日常生活活動(起居や歩行など)の回復を支援・指導します。我々は病院に行つて医療を受けますが、実際に診察・診断を行うのは医師ですね。医師が行うのは医療で、その学問的基盤は医学です。同様に理学療法を行うのが理学療法士(Physical Therapist:PT)で、その学問が理学療法学です。なお、PTは国家資格です。

私が理学療法士免許を取得してから30年以上経過しましたが、最初からこの道に進んだ訳ではありません。富山大学(理学部生物学科)に進学後、一般企業(製薬会社)に就職しましたが退職し、3年制の金沢大学医療技術短期大学部(当時)に入り理学療法学を学びました。短大卒業後は、PTとして金沢大学附属病院に就職、縁あって母校の教員になった経緯があります。その後、短大が4年制

(金沢大学医学部保健学科)に改組となり、現在は大学院博士後期課程まであります。この間、大学院での臨床業務を兼務しながら研究・教育に従事しました。研究では、理学療法学の分野では当時少なかった実験動物を使った基礎実験を継続し学位を取得しましたが、富山大学時代の経験が役立つと思います。

少しだけ専門的なことを書きます。私の研究テーマは長期臥床後に生じる骨格筋の廃用性萎縮 (Disuse atrophy) に対する理学療法効果の検証です。具体的には宇宙環境における適応研究のために開発された動物モデルを用いた理学療法分野の研究に使ってきました。最近では、加齢による筋力・筋量低下(サルコペニア)にも関心があります。筋力が低下する現象としては似ていますがメカニズムは違い、超高齢社会には重要な課題と考えられます。やはり、なるべく自分で立って歩けることは大事です。その対策として、少しでも対象者の方のQOL (Quality of Life) 向上に役立つことができればと思っています。

昨年3月には、魚津高校卒の学生が私の研究室を卒業し、富山県リハビリテーション病院にPTとして就職しました。歳は離れていますが後輩であり、やはり今後に期待しています。魚津高校は今年創立120周年を迎えることができました。卒業以来、高校との関わりは少なく心苦しいですが、母校が諸先輩方の良き伝統を受け継ぎ、時代の変化に適応しながら今後益々発展することを祈念しています。

(魚高30回卒)

# ああ、魚高新聞!



福留 正二(魚高26回卒)

1970年代初頭、私が高校生だったころ、高度成長の恩恵のおかげか、豊かになりつつある生活水準と権利や自由の尊重という気風の中で、まさしく高校生活を謳歌していました。

一方で「あえて自分が汗をかかなくても何とかなるだろう」という安易な気持ちも同居していました。いわゆる「三無主義」が高校生の間にはびこり、無気力、無関心、無責任、さらには無目的、無感動など様々な無〇〇を加えて五無主義、六無主義などと呼ばれていました。当時の大人からは「近頃の若い者は…」と嘆かれています。

新聞部では、高校生活や社会問題など独自の論を掲載するだけでなく、生徒の冷ややかな反応に困難を感じながらもアンケートを実施し、その集計結果に自らの思いも込めて問題提起に努めていました。今振り返ってみると、なんとも青臭く稚拙なものだったかと、やや冷や汗が出る思いもしています。

部室は正面の道に面した旧記念館、集まった

部員同士、世間話をしながら和気あいあいと活動していました。当時の魚高新聞がどれほどみんなの役に立ったのかは甚だあやしいのですが、後輩の皆さんの努力のおかげで魚高新聞が数々のコンクールで優秀な成績を収めるようになったと聞き、うれしくもあり、多少誇らしい気持ちにもなりました。

その新聞部がなくなる!と聞いて驚きます。確かに新聞づくりは、内容の企画や記事の収集、紙面割、見出しや字体の選定など、大変面倒で手間のかかるものです。しかも、パソコン、スマホなどで簡単に情報が得られる時代、新聞も読まなくなりました。なり手不足で部員がなくなってしまう結果の閉部なのでしょう。

しかし、高校生にとって、自分たちと同世代の目線・感覚で意見を言い合い、考えを闘わせる場は必要ではないでしょうか。高校生生活だけにとどまらず社会全般のことについても、18歳になれば選挙権が行使できる今、若者の声を効果的に社会に届けるためにもぜひ多様なものの方・考え方に触れることが大切です。

魚高新聞を読んで、「なんてくだらない!」とか「へー、なるほど」とかでも構わないが、新聞がもたらす問題提起は、想像以上に一人一人の考えの高まりや深まりをもたらすものだと思っています。だから、新聞部の存続を担ってもらえる若者はいないでしょうか。

## ノーベル賞受賞

# 本庶 佑氏と 本校の遠からぬ関係

2018年ノーベル医学生理学賞は、免疫の仕組みを利用する新たながん治療法を実現した本庶佑京都大学特別教授が受賞されました。

本庶氏のノーベル賞受賞のニュースと同時に、富山県内では本庶佑氏の両親が県内出身者であることもニュースに取り上げられ話題になりました。本庶氏自身は京都市出身と紹介されていますが本籍は父親の出身地である富山市にありますが、そして、本庶佑氏の母親、柳さん(旧姓・大崎)は魚津市出身で、魚津高校の前身である魚津高等女学校の13回卒業生であることがわかりました。同窓生のご子息の研究が、がん治療に大きな貢献を果たされ、世界的な賞を受賞されたことに賛辞をお送りします。

## 第20回魚津高校同窓会 ゴルフ大会

個人成績	優勝 勝次	3位 4位 5位	優勝
団体成績	優勝		



富一 人 人 義 富 一 夫  
清 真 康 義 喜 清 真 立  
口 田 西 原 原 今 井 口 田 岡  
関 西 原 原 今 井 口 田 岡  
関 西 花

# 近代学校建築の雄「魚津高校講堂」

富職藝学院 教授 上野 幸夫

## ■県内初の本格的な鉄筋コンクリート造の講堂

県東部を代表する歴史ある魚津高校の講堂は、昭和12年（1937）に県内初の本格的な鉄筋コンクリート造の講堂として建てられたもので、後、昭和28年の火災で焼失は免れたものの損傷がひどく、昭和30年に総工費100万円を投じて外壁の塗装や内装の天井や照明を現状のように改修した。その後、昭和62年には外壁補修や塗替えと共に、出入口や窓をアルミサッシに取替えて床板の張替えを行い、平成28年には外壁補修や塗替えと屋根葺の替え及び小屋組の耐震補強が行なわれている。

建物は桁行28・2m、梁間9・1mの一部二階建の切妻造り椽瓦葺きの主屋の南面に、梁間が同幅で桁行4・7m、一部二階建て、陸屋根の屋上とした吹抜けのステージが接続しており、東面に渡り廊下が取付いて、他の三面は建物中央に玄関ポーチを突出す。

平面は、一階が吹抜けの講堂を中心に、北面玄関を入った左右に二階への折れ階段が設けられている。南面のステージ部は正面の壁面中央に奉安殿が祀られ、ステージの左右は控え室で、背面裏は狭い通路にして中央を出入口とする。講堂二階はステージ側を除く三面を一間ほど出たギャラリーとし、二階北側だけは雛壇状の客席になる。

## ■垂直性の威厳とアーチの温和を強調した外観

外観は基本的に左右対称形になり威風堂々とした威厳と存在感がある。側面と妻面では意匠を変え、両側面は平面的な壁面を避けるために一、二階通しの柱型がリズムカルに連続し、その間に縦長の窓を開ける。腰廻りは灰色を基礎

とし、柱型には中央が筋状の茶系で

左右の角を白としたタイルが張られている。建物頂部には洋風建築らしく蛇腹帯を付けて軒を見せず、屋根は雪止め瓦を配したあずき色の椽瓦葺きになる。

妻面は北妻が中央に玄関ポーチを突出し、壁面は建物輪郭の内側に大きなアーチ型の蛇腹帯を付けて玄関左右端の柱型をアーチまで立上げ、三角屋根の頂部にも蛇腹帯がまわる。玄関上と左右の中段にはそれぞれ2つの窓を開けて棟下にはガラリ窓を設ける。南妻ステージ側は積木を重ねたような印象の陸屋根で、北妻とは全く違った外観になる。

各面の玄関ポーチは奥行一間、間口三間で、四角形の独立柱を4本建てた吹放しになり、二階は屋上で周囲に手摺を兼ねた壁を巡らす。周囲には御影石製階段を設け、柱足元や敷居にも御影石を用いる。柱頂部に乗る梁下端角には意匠的な蓮弁模様を施し、天井の周囲にも反転曲線の蛇腹を設け、中央には円形中心飾りに照明を設置している。

## ■格調高く気品ある木部に白壁の室内空間

室内の腰廻りは幅木に手間を掛けた額羽目の腰板張り、出入口や窓周囲には額縁を廻し、鉛色に塗られたワニス塗りの木部と白壁の対比が美しく、格調高く気品ある室内空間となっている。ギャラリー下の天井面も梁や桁を化粧に角には唐戸面を取り、床先端を曲面にして出桁下端に段々の凹凸を付けるなど、手間を掛け意匠を凝らしている。また、北側の階段口は上部



半円アーチの開き戸で、天井は二階雛壇下になるため当初からの傾斜の付いた意匠的な薄茶色の布貼り格天井になる。

二階ギャラリーは外側半間が客席で前面を通路とし、ワニス塗り木製笠木の手摺を立上げる。階段や床及び手摺は全て手間の掛かるテラゾ仕上げになり、天井は柔らかな印象の薄錐型天井で左右のギャラリー上だけが平天井になる。屋根裏の構造は鉄骨トラス造になるが、天井が薄錐型天井である事より強固な構造にするため、左右下端に方杖状トラスを入れた良く考えられた構造になる。

## ■建築当初は今以上にすばらしい豪華な姿

後世の改変として、外部では出入口や窓がアルミ製になるが、当初は意匠的な木製の腰付ガラス戸や欄間が入り、窓も下二段が突き上げで上段が回転窓であった。室内では控え室の床の改造や螺旋階段を設けて屋上に放送室を増築するなどしている。また、出入口や窓及び奉安殿には模様付生地のカーテンが付き、特に奉安殿は意匠的で豪華なものになる。講堂の天井も現在は平面的な吸音板張りになるが、当初は大きな長方形桁の格天井で茶色の布貼りになり、中央と四隅には意匠的な木製中心飾りを付けた豪華なシャンデリアが下がり、今以上にすばらしい姿であった事が判る。

## ■まとめ

我が国では大正時代から昭和初期にかけて企業や公共の建築にコンクリート造が普及した。そのような中において、この講堂は県内初の本格的な鉄筋コンクリート造の講堂で、意匠や構造及び施工技術において優れ、奉安殿を持つ戦前の講堂としても歴史的価値がある。学校では歴史の象徴として広く親しまれ保存活用されたい。この建物の真価を発揮する日を夢見て、いつの日か完全復原されることを願って止まない。

# 魚津高校 120周年記念 にむけて

来年度で魚津高校は創立120周年を迎えます。現在、記念行事に向けて準備が進められています。平成30年11月30日には中尾哲雄名誉会長の呼びかけにより記念行事についての拡大学年幹事会が開催され、参加者は50名を越える盛会となりました。

記念行事の内容は、記念式典の開催、記念誌の発行、記念事業として講堂の空調設備の整備そして新たに教育基金が創設されることになりました。記念誌は現在本校においても制作が始まりました。講堂にはエアコンが取り付けられることになり、快適な環境の中で集会や講演会が行われることが期待されます。教育基金は、海外語学研修や2学年で行われる希望選択研修などに経済的な理由で参加が困難な生徒に対し支給される予定です。

## 魚高生の活躍

(平成30年8月～平成31年2月)

### 【運動部】

#### ○陸上競技部

第55回富山県高等学校新人陸上競技対抗選手権大会  
共通女子4000m 2位 河中 胡生芽  
共通女子4000m H 3位 河中 胡生芽  
共通女子三段跳び 2位 関口 陽菜  
共通男子三段跳び 3位 先名 颯祐

#### 第23回北信越高等学校新人陸上競技大会

女子4000m 3位 河中 胡生芽

#### ○卓球部

平成30年度富山県高等学校新人卓球選手権大会  
2年生の部 1位 河村 直喜

富山県高等学校秋季卓球選手権大会 3位 森野 太智

全日本卓球選手権大会ジュニアの部 県予選会 2位 河村 直喜

男子シングルス 全国大会出場

#### ○柔道部

第64回富山県高等学校秋季柔道選手権大会  
男子個人 66kg級 3位 板澤 俊介

### 【文化部】

#### ○吹奏楽部

第40回富山県アンサンブルコンテスト新川地区大会  
打楽器四重奏 金賞・地区代表  
サクソス四重奏 金賞  
フルート三重奏 金賞

#### ○書道部

第43回富山県青少年美術展  
書部門

銀賞 森 愛  
銅賞 井波 綾香

#### ○美術部

第30回富山県高等学校文化祭  
美術・工芸部門 優秀賞  
全国高総文祭出品 中西 萌

#### ○将棋部

第29回富山県高等学校将棋選手権大会  
女子個人戦 2位 清田 有希子  
全国高文連将棋新人大会(岡山) 出場  
リーグ戦 1位 米田 有希

### 【同好会】

#### ○ダンス同好会

全国高等学校ダンスドリル選手権大会2018  
ヒップホップ男女混成部門スモール編成 2位  
ヒップホップ男子部門 2位

### 【文化活動】

#### ○第65回国際理解・国際協力のための 高校生的主張富山県大会

優良賞 荒尾 学典

#### ○第13回全国高校生金融経済クイズ選手権 『エコノミクス甲子園富山大会』

3位 荒尾 学典  
草 勇人

#### ○税についての高校生の作文 魚津税務連絡協議会長賞

草 勇人

#### ○全国高等学校ヒプリオバトル2018富山県大会

2位 大田 莉央

#### ○とやま科学オリンピック2018 数学分野 銅賞 化学分野 銅賞

松嶋 航太郎  
中原 彰哉  
岡田 涼

#### ○第64回青少年読書感想文全国コンクール 全国学校図書館協議会会長賞

草 勇人

### 同窓会連絡係 (平成30年度)

1組	倉田 遼	片井美由紀
2組	米澤 克哉	玉島 華乃
3組	◎今井 帆丘	浅野 千夏
4組	中嶋 亮太	◎中島 乃彩
5組	山田 朝陽	椎名 真羽

◎は学年代表

### 原稿募集のお願い

本校同窓生で「こんな方を知っている」「こんな方が活躍している」という方はいませんか？  
自薦・他薦は問いません。原稿をお寄せ下さる方募集しています。

### 富山県立魚津高等学校同窓会

〒937-0041 富山県魚津市吉島945番地

TEL (0765) 22-0221

FAX (0765) 22-9970

### 同窓会ホームページ

<http://uozu-dosokai.net/>

### 魚津高校ホームページ

<http://www.uozu-h.tym.ed.jp/>